

栃身連

第137号

発行所

一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階

発行人 麦倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

新年のごあいさつ



一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会

会長 麦倉仁巳

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

栃身連は、県内の市町の福祉会を構成団体として障害者の福祉の向上を目指して活動しておりますが、常日頃から、諸先輩をはじめ会員・関係者の皆様から、当会の各種事業にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は那珂川苑の民営化や障害者雇用増し防止のための改正障害者雇用促進法が成立しました。また、大型台風の襲来は関東各地に甚大な被害をもたらし、栃木県障害者スポーツ大会2年連続中止や全国障害者スポーツ大会も中止になるなどの影響を受けました。

災害時の要支援も含め栃身連として会員の意見を取りまとめ、共生社会実現のための意見具申を国や県に対して行ってきたところです。

今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2022年には栃木県で国体や第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会



第24回 栃木県身体障害者福祉のつどい



まっております。スポーツを介して障害者の社会参加と理解促進にも取り組んでいるところであり、この機に構成団体一丸となり「ユニバーサルデザイン」の街づくりと「心のバリアフリー」を定着させる行動を行う必要があります。

新しい年を迎え、役職員一同福祉向上のため邁進する所存です。引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

とちぎ大会」が開催されます。そのための大会実行委員会や強化指定選手への任命を行うなど、障害者スポーツへの機運が高まっています。

第24回栃木県身体障害者福祉のつどい

令和元年12月2日 とちぎ福祉プラザ

県内各市町身体障害者福祉会の皆さまにご参集いただき、第24回栃木県身体障害者福祉のつどいを開催しました。

第一部式典では、本年度5月に当会の役員を退任されました永年役員の皆様に感謝状の贈呈を行い、ご来賓よりご祝辞を頂戴しました。

(感謝状贈呈)

矢板市 室井 祐様
佐野市 横塚 武夫様
大田原市 荒井 トヨ様
(来賓)

栃木県保健福祉部障害福祉課

課長 加藤 篤信様
社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
会長 菊池 康雄様

一般社団法人栃木県視覚障害者福祉協会
会長 須藤 平八郎様

一般社団法人手をつなぐ育成会

常務理事兼事務局 尾花 正二様
栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
副会長 山崎 富子様

全国脊髄損傷者連合会栃木県支部
支部長 佐々木 清美様

第2部は、社会福祉法人山梨県障害者福祉協会の竹内正理理事長を講師に迎えて講演いただきました。概要は2面にご紹介いたします。



講演

3人の母親の物語り

―障害をもった子の母親それぞれの思い―

講師 社会福祉法人

山梨県障害者福祉協会理事長

竹内正直氏

●中村久子は明治30年、岐阜県に生まれる。2歳で突発性脱疽のため、両腕は肘から、両足はひざ下から切断された。母親は何としてひとりだけで生きていける子にしたい。最初は麻袋のほどもきものを与えた。やり方は自分で考えるようにと少しも教えなかった。ハサミや針は口の中に入れて使う方法を身につけて、毎日泣きながらやりぬいた久子は15歳で単衣の着物を仕上げる事が出来るようになった。読み書きは祖母が教えてくれた。筆を口にくわえて文字を覚えた。血の滲む努力を重ね身の回りのことはほとんど出来るようになった。20歳のとき、家計を扶けるため年季奉公に出た。見世物になって口で縫い物や編み物をしてみせた。年季明けには自ら興行主となり全国はおろか朝鮮や台湾にまで出かけた。久子は恥ずかしがることもひるむこともなかった。障害をもっている可能性もある。出来ても出来なくても挑戦する

という熱い志で見世物になったのだ。ヘレンケラー初来日の歓迎会に呼ばれた久子は手作りの木目込み人形を贈った。ヘレンケラーは大変喜んだと同時に、久子の姿を体で感じ「あなたはこの世で最も不幸な人、でもこの世で最も偉大な人」と抱きしめて涙した。その後、久子は時の厚生大臣に進言したのである。「働ける障害者には仕事をください。重度の障害者には年金をあげてください。普通の人のように学問をさせてください。独立心を養うには人より何倍もの学問が必要です」障害者福祉法ができたばかりのことであつた。多くの仲間の暮らしに光をあててほしいと懇願した。後年、久子は語った。「厳しい母親を恨んだこともあつた。でもその母の躰がなかったら今の私はいなかった。もし私に手足があつたら人様の物を盗み刑務所に入っていたにちがいないと頭の中で何度も考えていた。でも盗む手が私にはなかった。手足のないお陰様です」母親は慈悲深い愛で自立への道を大きく開いてくれた。人間としての正しい生き方に導いてくれたのだ。

●大谷正美との出会いは昭和56年山梨県で行われた障害者の結婚のつ

どいのかであつた。参加要件には「一人での身の回りのことが整えられる方」となっていたため、母親に車椅子をひかれ現れた姿を見て驚いた。その時お母さんが彼にかわって自己紹介をした。彼は脳性小児まひの後遺症で重度の身体障害のうえ言語機能も不自由であつた。就学不能と言われ義務教育を受けられなかったが、通信教育で学び、大学入学資格検定試験に合格。東京理科大学で聴講し、体育以外の全課程を優秀な成績で履修。その後、教育書の校閲の仕事をもらい在宅就労する。一人で動くことも出来ない息子に寄り添い彼の考えを尊重し、そのために力を尽くしてきた母親なしに彼の成功はなかったであろう。後に彼から手紙をもらった。「結婚のつどの目的を果たすことが難しいとわかっていくつもりではある。結婚など諦めると言う知人もいる。でも、私は世の中の多くの人が経験している結婚をして家庭を持つという考えを捨てることは出来ないのである」そして、ヘレンケラー来日の際にこう語った。「彼女は世界中の人から尊敬されていると思うが、もし普通に結婚して妻として母としてその生涯をおくってくれていたなら自分にとって一番どれほどの励ましであつたかしない」

●レーナマリアは、生まれたとき両腕がなく、左脚は右脚の半分しかなかった。両親は驚いたが、今あるままに胸をはって生きていける普通の子として育てた。5歳のとき教会の聖歌隊に入り歌を始めるきっかけになった。その素晴らしい歌声で、現在は国際的なゴスペル歌手として活躍している。「私に不自由はない。ありのままを見てほしい。障害を隠すことはない。両親はありのままの私を愛してくれた。それが自信と安心感の拠り所となり、失敗を恐れられない勇気を与えてくれた」と語る。彼女の母親は娘をこう紹介している。「価値のない命などひとつとしてありません。小さな人間の命にひそむ黄金のつぶを探して、それをいたわり大切にすることです。その結果は驚きに値するものです。その例がレーナマリアです」

小さき小さきままに

折れたるは折れたるがまま

コスモスの花咲く

作 昇地三郎

どんなに茎が折れ曲がっていても
花びらがいかに小さくても
咲いた花は美しいのです

第19回全国障害者スポーツ大会

卓球バレー全国交流大会に参加して

市貝町卓球バレー「心笑会」

代表 小堀 謙介

元号が令和となつて初めての第19回全国障害者スポーツ茨城大会は、台風の影響予報により全ての競技が中止となりました。しかし、開会式の一週間前に行われたオープン競技の卓球バレーはこの大会で実施された唯一の競技種目となりました。

私たちのチームが対外に目を向け、たきつけは、一昨年に市貝町社協主催で行われた近県チームとの交流試合において、大きな力の差を見せつけられたことでした。

今年4月に関東圏内のクラブチームが集結して開催された茨城県卓球バレー交流大会に参加しました。しかし、ここでも他県チームとの差を感じさせられ、さらなる鍛錬が必要であることを痛感しました。

その後、練習の質と量を各々高め、8月の栃木県大会で優勝し、全国大会への出場に推薦をいただきました。

9月に埼玉県で開催された関東地区大会には障害者卓球愛好会のメンバーで臨みました。一位グループに駒を進め、その一位グループで準優勝を勝ち取ることが出来、練習の成

果が出たことに少しの自信を得ることができました。

そして、10月6日の卓球バレー全国交流大会には満を持して臨みました。栃木県代表として市貝町福祉会卓球バレーチーム「とちぎ心笑会」の9名の選手が、茨城県取手市のグリーンスポーツセンターに着いた時には、42チーム総勢430名の選手と地元取手市長をはじめた皆さんの来賓や大会役員、ボランティアなどで会場は熱気に溢れていました。

開会式の後、全コート10台で一斉に予選リーグが始まりました。最初の対戦相手は、福井県から出場の「福井県特別支援学校チーム」。車イス使用を含めた生徒たちは堅実な守備に徹し、監督兼任の健常者であるクラブ担当教師の攻撃と、役割を分担した鍛え上げられたチームでした。試合開始早々から「ホールディング」と「ドリブル」の反則プレーを厳しく取られ、メンバーは浮足立ちました。対戦相手からの強烈なスマッシュも防ぎきれずに失点を重ね、敗れ無く敗れました。

第2試合は古河市の車イス女性を監督・コーチとする「はなももチーム」。第一セットを接戦の末に勝ち取ったが、第二セットを落として引き分け試合。予選リーグは1敗1分で、

決勝トーナメントに進むことは出来ませんでした。午後に行われた3・4位決定戦の相手は、結成2年目で熱く燃える香川県の「香川オリブチーム」。交流大会とは言え初勝利を目指して両チームとも必死の戦いでした。1ゲームを幸先良く先取して気が緩んだのが、2・3ゲームを連続して落としてしまいジ・エンド！

折角の晴れの場で良い結果を残すことは出来なかったが、全国の強豪の中、すごい緊張をし、すごく楽しかった経験であり、次への闘志を新たにしたい有意義な大会となりました。

今までの大会や交流会を経験して感じたことは、「ルールの知識が足りない」容赦なくファウルを取られ、理解できない場面も多々あった。《役割分担の意識が低い》誰でもアタッカーになりたいが、それにより守備に穴ができてしまう。《経験不足》もつと多くの試合経験を積んでおくべきだった。

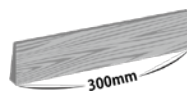
卓球バレーを知らない人や、参加を躊躇している人たちへ、ゲームの楽しさや奥深さなどをお伝えし、この競技がこの栃木でますます盛んになるような場面で協力をしていきたいと思っています。

ハンデも年齢も関係なく
チームが協力し合って
みんなで楽しめるスポーツ

卓球バレー

バレーボールのルールを元に考案された日本発祥のスポーツです。ネットをはさんで1チーム6人ずつがイスに座って卓球ボールを転がし、ネットの下を通すことで相手コートへ3打以内で返します。

ラケット(木の板)



音の鳴るピンポン球



NHKハートネット福祉情報総合サイト「パラスポーツ図鑑」より

障害者スポーツ教室

障害者スポーツセンターにおいて各種スポーツ教室等が開催されます。是非ご参加ください。

アーチェリー教室

令和2年1月18日(土) 10:00~12:00

ボッチャ教室

令和2年1月19日(日) 14:00~16:00

令和2年2月1日(土) 10:00~12:00

ボッチャ大会

令和2年2月9日(日)

9:30~12:00

チーム構成は2人1組

【正式競技の部】

肢体不自由の座位・立位

各1名ずつ

【オープン競技の部】

障害の有無・障害種別は問わない



参加申込み・お問合せ先

特定非営利活動法人 栃木県障害者スポーツ協会

宇都宮市若草1-10-6 障害者スポーツセンター

(TEL・FAX) 028-624-2761

E-mail: entry@tochi-shinkyo.org

URL: <http://www.tochi-shinkyo.org/spo.html>

※各申込書はホームページからダウンロードできます

※定員に達した場合はホームページに掲載されます



いちご一会とちぎ大会

2022

第22回全国障害者スポーツ大会
会期決定! 2022年10/29(土)~10/31(月)

栃身連賛助会員

栃身連の活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。ご支援をお願いできれば幸いです。

●個人会員年会費

□ 2,400円(各市町身体障害者福祉会員)

□ 3,000円(福祉会未入会の方)

●団体会員年会費

□ 10,000円

問 栃木県身体障害者福祉会連合会

この機関紙は

赤い羽根共同募金配分金

により発行しています



令和2年度主な行事予定

行 事	開催日程
日本身体障害者福祉大会 広島県	6月4日(木)
栃木県民福祉のつどい 宇都宮市文化会館	8月24日(月)
栃木県障害者スポーツ大会	9月 中旬・下旬予定
全国障害者スポーツ大会 鹿児島県	10月24日(土) ~26日(月)
栃木県障害者文化祭 とちぎ福祉プラザ	10月下旬予定
栃木県身体障害者福祉のつどい とちぎ福祉プラザ	12月2日(水)

※日程及び開催場所が未確定の行事
については次号にてお知らせします

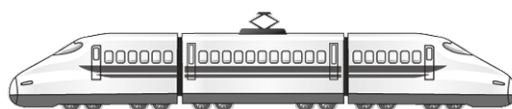
JRジパング倶楽部特別会員

身体障害者手帳では割引とならないJR線の特急券など、「片道・往復・連続」で201km以上ご利用の場合に割引となるミドルからシニアの方を対象とした購入割引制度です。

ただし、新幹線の「のぞみ」や「みずほ」などの切符や割引にならない期間がありますのでご注意ください。



加入資格	身体障害者手帳をお持ちの方 男性60歳以上、女性55歳以上
年会費	1,400円 ※令和元年10月1日から年会費改定
新規申込	初回3回使用までは2割引 4回目以降は3割引になります 入会申込書と身体障害者手帳のコピーは郵送 年会費は銀行振込でお願いしています 詳細はお問い合わせください
更新申込	継続の方は引き続き3割引 お手続きは年会費のお振込みのみで完了です 住所や電話番号が変更の場合はご連絡ください



問 栃木県身体障害者福祉会連合会